

刊夕日六十

<p>發行所 會社 京城日報社 支店 三軒宮川町四三六番 電話 二四四〇番 廣告部 日守町三〇〇番</p>	<p>發行所 會社 京城日報社 支店 三軒宮川町四三六番 電話 二四四〇番 廣告部 日守町三〇〇番</p>	<p>發行所 會社 京城日報社 支店 三軒宮川町四三六番 電話 二四四〇番 廣告部 日守町三〇〇番</p>	<p>發行所 會社 京城日報社 支店 三軒宮川町四三六番 電話 二四四〇番 廣告部 日守町三〇〇番</p>	<p>定價 紙張 月刊 三個月 十五圓 半年 三十圓 全年 六十圓 零售 每份 二圓</p>
--	--	--	--	--

大豆調製の不完全より
鐵青浦の新井新藏氏は句
不同及び並に調製上にて

全より又
 此の邊から汽車は段々上りになつ
 たらう。

材が堆積く積まれて
激過へ持つて行くの
つたのであらう。四方鋸狀の連山

此原の特色で此んなものが凡
ある。即ち金谷、鑓原、銀辨浪、
から安達だ。

題也足軒聖
蟬居景勝朱子門下
無仙亦無佛許君自稱布衣

© 2000 Pearson Education, Inc. All rights reserved. Printed in the United States of America. This publication is protected by copyright. Permission is granted to reproduce this document for personal or internal use, not for redistribution. For more information, contact Pearson Education, Inc., 501 Boylston Street, Boston, MA 02116.

暗殺説傳へらるゝ露國首相ケレンスキー氏



露國首相の暗殺説

ストックホルム電に曰く、露國内閣總理大臣ケレンスキー氏は反對派の爲め暗殺されたるもの

搬運に公認の本票

御禮廣告

月賦清償販賣總代理店主募集

飛行船 來襲も 尊程でない

「飛行船」は、英國の此項飛行船の攻撃方法、案出して廿四萬の資金を得た。十六歳の少年「朝鮮」は、世界一の樂園。

仁政殿の午餐會

新任松川軍司令官の爲めに、陪賓として長谷川總督以下各將軍其他の高官を招待せらる。

路上に紙幣の花

十六日午前、東京市街に、紙幣の花が散らばる。これは、紙幣の偽造と見られる。

死囚の控訴

東京市街に、死囚の控訴が行われる。これは、死囚の権利を主張する。

小麥と砂糖が

「小麥と砂糖が」は、小麥と砂糖の価格が上昇した。これは、食糧の不足と見られる。

「仁政殿の午餐會」は、新任松川軍司令官の爲めに、陪賓として長谷川總督以下各將軍其他の高官を招待せらる。

「路上に紙幣の花」は、十六日午前、東京市街に、紙幣の花が散らばる。これは、紙幣の偽造と見られる。

「死囚の控訴」は、東京市街に、死囚の控訴が行われる。これは、死囚の権利を主張する。

「小麥と砂糖が」は、小麥と砂糖の価格が上昇した。これは、食糧の不足と見られる。

「仁政殿の午餐會」は、新任松川軍司令官の爲めに、陪賓として長谷川總督以下各將軍其他の高官を招待せらる。

「路上に紙幣の花」は、十六日午前、東京市街に、紙幣の花が散らばる。これは、紙幣の偽造と見られる。

「死囚の控訴」は、東京市街に、死囚の控訴が行われる。これは、死囚の権利を主張する。

「小麥と砂糖が」は、小麥と砂糖の価格が上昇した。これは、食糧の不足と見られる。

「仁政殿の午餐會」は、新任松川軍司令官の爲めに、陪賓として長谷川總督以下各將軍其他の高官を招待せらる。

「小麥と砂糖が」は、小麥と砂糖の価格が上昇した。これは、食糧の不足と見られる。

「仁政殿の午餐會」は、新任松川軍司令官の爲めに、陪賓として長谷川總督以下各將軍其他の高官を招待せらる。

「路上に紙幣の花」は、十六日午前、東京市街に、紙幣の花が散らばる。これは、紙幣の偽造と見られる。

「死囚の控訴」は、東京市街に、死囚の控訴が行われる。これは、死囚の権利を主張する。

「小麥と砂糖が」は、小麥と砂糖の価格が上昇した。これは、食糧の不足と見られる。

「仁政殿の午餐會」は、新任松川軍司令官の爲めに、陪賓として長谷川總督以下各將軍其他の高官を招待せらる。

「路上に紙幣の花」は、十六日午前、東京市街に、紙幣の花が散らばる。これは、紙幣の偽造と見られる。

「死囚の控訴」は、東京市街に、死囚の控訴が行われる。これは、死囚の権利を主張する。

「小麥と砂糖が」は、小麥と砂糖の価格が上昇した。これは、食糧の不足と見られる。

「仁政殿の午餐會」は、新任松川軍司令官の爲めに、陪賓として長谷川總督以下各將軍其他の高官を招待せらる。

「小麥と砂糖が」は、小麥と砂糖の価格が上昇した。これは、食糧の不足と見られる。

「仁政殿の午餐會」は、新任松川軍司令官の爲めに、陪賓として長谷川總督以下各將軍其他の高官を招待せらる。

「路上に紙幣の花」は、十六日午前、東京市街に、紙幣の花が散らばる。これは、紙幣の偽造と見られる。

「死囚の控訴」は、東京市街に、死囚の控訴が行われる。これは、死囚の権利を主張する。

「小麥と砂糖が」は、小麥と砂糖の価格が上昇した。これは、食糧の不足と見られる。

「仁政殿の午餐會」は、新任松川軍司令官の爲めに、陪賓として長谷川總督以下各將軍其他の高官を招待せらる。

「路上に紙幣の花」は、十六日午前、東京市街に、紙幣の花が散らばる。これは、紙幣の偽造と見られる。

「死囚の控訴」は、東京市街に、死囚の控訴が行われる。これは、死囚の権利を主張する。

院
話二四九八番
潔

銀 行

開張
弘相允
國一八六三番
閉京城二一〇五番
開城、南大門

中二
候船

第十四番

數多の學士が
第一り解ある

して研究に研
認めて社會に

五十七號一冊骨組
の四角アリ
松葉町三丁目
衣藥會社
座東京二七七七

は
癒
る
!!!

拾錢
 貳拾錢
 全國各藥
 店ニア
 店ニア

なき人は試よ
 白やにぬ 其他眼病
 白うみぬ 諸症に効
 白めくさ 効あり

丹平商會藥房

特長

登録商標

直治水

外眼病の効なき人は試すべし

主眼病の効なき人は試すべし

タツタ十銭で眼病が癒る!!!

健康の友として
勉學の秋に入り給へませう

丹平商會藥房

第二十九席

浪桃
上川
義三
郎燕
速口
記演

手を掛けて引張つたが抜けない。彦「ヘナナ、抜けさうなものだが、家」接ぎ者が罷出ましてお言葉が、取く木ではあるまい。彦「イチ確に接木に違ひございせん、常人を召して抜かして御遊ばせ。家「苦しいない其者を呼べ。彦「畏りました。轡で彦左衛門郎の外に出て参り。彦「コレ一基五郎、此方参れ、其方は賀賀五郎上様お目通し仰付られる、有難く心得て後に足いて参れ。其、それは何うも有難い仕合にございします。」と彦左衛門の後に居てお庭に入つてきた彦「一ツ抜いて見てくれ、俺が今遣つて見たが何うして抜けない。其「へ、斯様いだしも抜けない」と枝に手を掛けた甚五郎が彦「スポリと抜てしまひ、其斯様いだしますと元の通り」彦「スポリと復元の如く復めて、其、斯くの如くでございします」家「公御遊ばせと花に此少の娘も無は及びせんお影様で公方様の前接ぎ者が罷出ましてお言葉が、取くい、彦「勝有難いことはございませ結構哉」と旦那様へお禮を言上ねなれませぬ、と多少の功に誇りませ且日は政右衛門と共に立廻りまし其翌日彦左衛門より使ひで駿河の館へ出て、彦左衛門悉く京城府明治門二丁三丁元氣醫院花柳病皮膚病須古醫院電話二〇二番

盡して居りましたが、茲に本所一つ
 目の辨天様の仕事を政右衛門が引受
 けまして多くの仕方方を仕事に掛け
 ることになつたが、世間の藤藏が
 始終多くの者に指圖をして居ります
 が、愈々明日が建前といふことに
 相成りましたが、何うか天氣にした

院長 醫學士 森定吉

小兒科

現規 會前向信 電話二六三三電

いものだと神祕な感の中世番人も心配をいたして居ります。實に建前を廃してしまふまでは心配なもので、大工棟梁も迷途な當日を待つ、お宮では料理の献立や何かもあります故、前日から支度にかゝつて居りますが、政右衛門は三日前より甚く風を引いて困つて居ります。當日は是非行きたいと思つて居ましたが、病氣はいまだ方のないもので頭が割れる様に痛んで建前の場へ行き兼ね、景を聞いて、世品役の藤藏が心配をして政右衛門の宅へ参りました。



 日本鯉株式会社
 三鯉末丸味噌
 電話二四五番
 九月十八日九星
 九月三日癸亥

[illegible]

【問】豆は豆を割るのや
嫌うから白粉を乗
ないで困ります。何か
お代難法ありませんか
い。(須藤 みちね)

【答】豆のある方はホ
グワラ 美月キーム
又はクワ 美月キーム
をお代難下してお可
い。上へタダ
豆にホグワラを乗
て粉付け、別の鍋で
浮いた粉を抜いたが
細く延ばし、揚げた

防はなす。さうして、
 したお年寄が出来る
 した。
 「四角に肉をく
 て煮ね見なすので
 願ひの宿した名を
 と製なすと思ひま
 ぎうたらアソ付付
 きたるものですか
 か。」(節、久子)
 「嘗て天候は方々
 なるが、晴しな人
 形の内付ん人、阿
 の肉付ん人、又、
 ます。是に英國の
 近き皮膚の腫れ
 て居るで、之に依
 てるで、」

くせられる事が肝要でございます。要を具するには、効力に富む上質の原料に能く齒を磨き、向

[illegible]

御婦人二代のお化粧……の内

お嫁に
行く迄

いちばんかうしやう
一番高尚で美しい艶の出る

ク
ラ
ブ
白
粉

(第四に)
を掌に取り、指先で能く揉つてつけ、(様は顔よりも少し多くする事)、牡丹御毛で白粉を延ばし、水刷で白粉を均らし、濡タオルで抑へて白粉を落付かせる。(薄化粧にはクラシム白粉を御使用の事)。お顔にホンノリと櫻色の健康色を添へるクラシム胭脂を、目の下から頬へかけて薄く刷きつくる。

(第五に)
お化粧に一段の生彩を加へるクラシム粉粉をセーム革につけて、顔に薄く打ち、様はボットに粉白粉をけて刷いた上を、セーム革で軽く打ます。高脚で美しい襟衣式のお化粧が出来たるのでございます。東京でも、大阪でも、中流以上の良家の奥様やお嬢様のお化粧法は、大概右の方法にきまつて居ります。

クラフ白粉は、
宮内省、
皇后宮職、
各宮家
御用品

A stylized black and white illustration of a woman in a dark, belted dress and a large, textured hat, sitting on a striped cushion. She is looking down at a small object in her hand. The background features a large, stylized chair and a bird in flight.

お化粧の順序



白



御婦人一生の大事たる結婚を前途に控へた令嬢方は、お化粧にも一層の御注意が肝要でございますが、東洋でも大歐でも良家の令嬢方のお化粧さきへば、淑女式のお化粧法と定陣ある左のお化粧法に殆んどさきまつて居ります。即ち先づ

座右銘 釋宗演

(通俗講演會に於ける講演)

秋つてやらうと云ふ考かも知れないが、袖には飲めない。詩を作る所に、行けば、伏兵でも置いてある様に、詩で一つ袖を試さうと云ふ風にも、思へないではないが、夫れも宜しいかも知れん。そんな譯で癡だ鷹様にかも知らずで、書きもせんならん。

と見やう云ふ人が出来たならば
 憂は合せてである。即ち何物かを眞
 ると同時に亦た程も何事か得たい
 云ふ慾動つた者が出て來たのぞ
 が、袂に腐條書を入れて來たから
 應讀んで見ませう。(此の時老師は
 々々の聲にて冒頭に掲げし句を讀
 乙は能く其を讀みたまはす)

長江を憶ふ(三)

年往事如一夢。回首茫茫蘆荻洲。

「されました、それにまあ勿體ない
私風情の宅へお足をお運び下され

日一
世付

カウ 萬年座
ムソ 萬年座
直松元
堀井 膳寫
電話 四四〇二番 振替口

京城出張所
京城一〇五八番

うか多敷い
 振て座石の銘云ふ事に付いてお
 睨します。座石の銘には色々あると
 吾々が古人の傳記を讀いて見ると
 偉人と云はれる人は一面必ず何等か
 家訓とか、一身上の座右の銘とか云
 ふものを持つて居る。そして其れを
 朝夕我身我心から放さずに居る様
 思はれる。或は單に簡牘書きに成つ
 て居るものもあり、或は文章に成つ
 て居るものもあり。襍は今日迄古人
 の座右の銘と云ふものを色々我々が
 たけりとも昔の人は、今でも左様
 だらうが、手素己れの心に細心の
 注意を傾けて居る、其れだから其
 の座右の銘なるものを、實に徹底し
 るものである。そこをさとす所の
 右の銘杯は大方諸君の胸に申述べ
 のは甚だ恥かしいのであります。元
 々之は拙が私かに拵て見たんであ
 る。そして之を實地吾身に付いて
 して先づざつと九箇條附りのもの
 になつたのであるが、大言壯語して
 之を吾身に行はねとあつては、實に
 心中に恐れを抱く。併し此の座右
 の銘が、拙の書に來て「道」を學ぶ
 に其れとせしなれに讀したのが、
 公になつて下ひ、若い學生達に與
 はれるまゝに既之を明かす様にな
 つて、内密で拵ねたものを、人前へ
 出して讀すと云ふ具合で大分大略に

孤憤を大江に流さむ
早曉驚起す。天尚闇く、人界未だ
めづ。樹梢秋聲あり。床下蟲語聞
ゆ。燈下兀坐し、眼目靜思す。
幽雲の如く湧いて、心緒の如く
る。儼の快狂を以て、這の心中の
麻を斷つべきや。
太平洋上の日本、東洋の日本、亞
細合國の勢子なるか。日本は隣邦の
勢子なるか。日本は米國の仇敵なる
か。今日の日本は盟國なるか。將
來の日本は盟國なるか。日本は君
主國なるか。日本は國民の思
將た民主國なるか。日本國民の思
何處に中心を有するか。天下
少壯國民の發奮を容さるか。被
革黨に古き酒を盛らざる可らるか。
威感懲然又綿々たる熱か。自ら
能はざるも、何人の告
にいつて、俯して教を乞ふべきや
無慈悲に堪へず。悠然たる久し。
吾人の愛憎、抑も何處にてか、
抑も。英米八雲の鐵騎の取たる
否。白俄奇松の東海の濱たる
否。否。

金に窮ると郷里に帰した不動産を
保管してゐる辯士に手紙を書いて
段々にそれを賣却はせよ、山林や畑
が後から／＼と利介の手を離れて今
に殘つてゐる物とはあの廣い邸一
つになつて仕舞つた、利介は度々辯
士に手紙を出して賤を賣つてくれ
と迫つた、しかし零落したと言へ
流石に大名屋敷の廣大なものを
田舎で右から左にそれを賣はうと云
ふやうな大富豪は一見當らなかつ
た、邸は何時迄も賣れずに残れたま
ゝで立つてゐた、利介の手紙は日に
／＼苦しくなつた、お定まりの借
しから始まつて仕舞には友人の眼を
寄食して歩いた、それも續かなくな
つては仕方が無い、何か食ふだけの
糧をしなければならぬ、そのうなと
正當な職には就く目的もなし誰力な
しにいつか破産府前に落込んだ、
邸が賣れてゐるのを幸色々の悪事を
して廻つた、こうして諸方を流浪に
て廻り二十五年の後、或時不圖少々
金子が手に入つたので利介は一度故
郷へ歸つてゐる氣になり聊か身軀を
調へて生出故郷一足を向けた。
二十五年の歲月は流石の田舎をも
變つた、利介は變つた村を見渡し

これ、結城の光家だ。早
來て御挨拶を申上げぬかい。女房
子供もお目通りといふ。藤吉と利介も
此處には尋常に挨拶して殿様振を見せ
ゐた。舊領主の威儀がお光来とい
ふ時は電光のやうに近所隣に播がつ
く。藤吉はどうなつてゐるかね。暫時
でして利介が聞くと六太は態度が頭を
下げながら「はい」あれは手前共
かお直かり申し居ますが實は大
威に及びまして、い何分餘り大き
て手が届きかねますので、はい御
免に入りまするにしても大門の外は
越え入りませぬ候でございます。言
ひながら腰についた巾着の中から大
切に大門の鍵を出して舊主人の手に
渡した。

雜 誌

◆芳吉とサル ◆史記(後集)

天宮に芳吉の生位は芳吉中にて天文六年二月廿
二日午時に生れてある。一階三層に天宮五十年の年
子を生じてある。今から當分の、而して一階三層
の生月元日に生れたるは斯に甲申度
の生れ、いふ所が家たるもので結構づくに足らぬ。
又父芳吉の強が氣に便する不具。サルとも
縁があつたのでなく、當時地方のサルとい
ふ中に於いて出たものである。サルとい
ふ名が成つてゐるうちに、其處には前田利家
の家をイヌと云つたもの、四年に生れたら
ぬ。其の取らば芳吉のサルと申の誕生し

■ 實業の新

現代は實業の世の中なり

實

■ 總裁大

忙しい世の中では、易く習へば直ぐに立つ實業的學問に比べ他人と競争し得られぬ本講習錄。ケ年間、現代に最も學問を極めて分るべく説明してある本を見よ。將來大發する實業の新知識



特賣期間中開設紀念

限侯爵 副總裁

業精

も習ひ 地の役 としなげ 勝利は 僅か 必要な 易く面 先づ見 心の基礎 悉く備る

大附録 書翰 世間を毎日使はれ 一紙を書く時心の 一々手本に依りて

大見本

大特典 入會金 水書草紙 書籍 獎學資金

初知識ある者

澁澤男爵
 としてボクツト用紙製算帳者個進呈可

算習字

又習字
 居る手紙の文例を集む
 を文例と手本にて教ゆ
 一ひつゝ實地の役に立つ

除 只今入會者に限る
星 水で面白く書ける
額 一等三十圓、二等
券 十五圓、三等五圓
進呈

又習字

▲申込次第無代進呈す
 ▲講義の内容を示す...
 ▲入會の手續を示す...

費會
 ▲一ヶ月 一圓
 ▲二ヶ月 二圓
 ▲三ヶ月 三圓
 ▲六ヶ月 六圓
 ▲一ヶ年 十圓

最新良科學科目

▲商業簿
 ▲銀行簿
 ▲商事要
 ▲商業英
 ▲商業數
 ▲商業作
 ▲商業暗
 ▲珠算
 ▲商業賞

候

何事にも終歸する者は折角の好運を失ふ者なり、速に見本を求められよ。

新

商業地理	實業讀本	商品學	實業習字	實業歷史	處世法	科外講話
一圓十五錢	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓	一圓
二圓八十錢	二圓八十錢	二圓八十錢	二圓八十錢	二圓八十錢	二圓八十錢	二圓八十錢
五圓五十錢	五圓五十錢	五圓五十錢	五圓五十錢	五圓五十錢	五圓五十錢	五圓五十錢

地番二十町區所
會習講業實國帝
番五七八・六七八・九八九橋京 番六一〇四京東座口替振

特賣期間中開設記念としてボケット用紙製分給者側通呈可仕候

何事にも躊躇する者
は折角の好運を失ふ
者なり、速に見本を
求められよ。

■總裁 大隈侯爵 副總裁 澁澤男爵■

實業講習錄

忙しい世の中では最も習ひ易く習へば直ぐに實地の役に立つ實業的學問をしなれば他人と競争して勝利を得られぬ本講習錄は僅か一ヶ月間で現代に最も必要なる學問を極めて分り易く面白く説明してある。先づ見本を見よ將來大發展の基礎たる實業の新知識悉く備ふる

大附録

書翰文習字

▲世間で毎日使はれて居る手紙の文例を集む
▲一々手本に依りて習ひつゝ實地の役に立つ

見本

▲申込次第無代進呈す
▲講義の内容を示す
▲入會の手續を示す

大特典

只今入手者限る
▲入會金免除 只今入手者に限る
▲水書草紙進呈 水で面白く書ける
▲書籍半額券進呈
▲獎學資金提共 一等三十圓、二等十五圓、三等五圓

最新良科學目

▲商業簿記	▲商業地理
▲銀行簿記	▲經濟講話
▲商事要項	▲實業叢本
▲商業英語	▲商品學
▲商業作文	▲實業智學
▲商業數學	▲實業歷史
▲珠算暗算	▲處世法
▲科外講話	

會費
▲一ヶ月分五十錢
▲二ヶ月分一圓十錢
▲三ヶ月分一圓十五錢
▲六ヶ月分二圓八十錢
▲一年分五圓五十錢

實業の新知識ある者は必ず成功す

東京市神田區本町二丁目番地
實業講習會
振替口座東京〇六一番・電話九八七・七八七五

大正十一年十月三十一日
 大正十一年十月三十一日
 大正十一年十月三十一日

萬年筆の撰擇を誤り給ふ勿れ！
 コスモス 壹號 米國製正十四金（インキ付） 特價金 貳圓
 コスモス 五號 同 特價金貳圓八拾錢
 コスモス 六號 米國製正十四金（編出式） 特價金貳圓六拾錢

萬年筆の撰擇を誤り給ふ勿れ！
 コスモス 壹號 米國製正十四金（インキ付） 特價金 貳圓
 コスモス 五號 同 特價金貳圓八拾錢
 コスモス 六號 米國製正十四金（編出式） 特價金貳圓六拾錢

大阪屋號
 大正十一年十月三十一日
 大正十一年十月三十一日

大正十一年十月三十一日
 大正十一年十月三十一日
 大正十一年十月三十一日

大正十一年十月三十一日
 大正十一年十月三十一日
 大正十一年十月三十一日

大正十一年十月三十一日
 大正十一年十月三十一日
 大正十一年十月三十一日

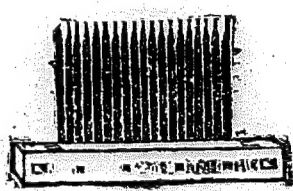
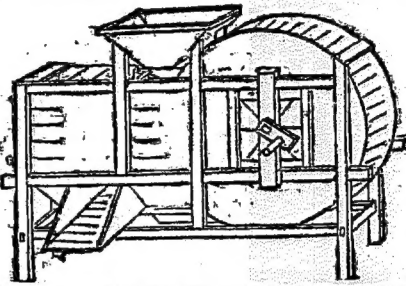
大正十一年十月三十一日
 大正十一年十月三十一日
 大正十一年十月三十一日

にて順路六道溝に赴き守閣障及び所成分院な
りて關したる御山腹たる穴忠碑に墜拜し夫れより

第十八回 大 阪 霞 の 家 主 人

A black and white illustration depicting a scene from a Japanese story. Three men are shown. On the left, a man in a dark kimono is kneeling and bowing his head towards the other two men. In the center, another man in a light-colored kimono stands with his back to the viewer, looking towards the right. On the right, a third man in a light-colored kimono stands facing the kneeling man. He has a mustache and is holding a sword (katana) in his right hand. The background consists of a stone wall with large, irregular stones.

「さらば何うする」
「此の事體は今日城中の大喧嘩へ、」
「謝手の大將を召し集め、」
「上座近々御出陣の旨を眞實に披露して下さるのぢや、すれば諸人も安堵して、」
「一入堅く結束を致すでござらう」
「それも一策、然し、合戦の無い間は、」
「上座御出陣でござり申さねど、」
「由て只今の口上を披露して置き、」
「此の方々様へに取つて通して、」
「上座へ此の旨の模様を言上、」
「すや御出陣の旨を披露するのぢや、こゝで一刻を過ますと、」
「永々取り返し付かね大事となるわ、」
「非伊本多は左右から觀き立てる、」
「直吉はやつて二人の説に従つて、」
「早々諸大將へ家康出陣の旨を披露する事に定めた」



工場
旭町二丁目
黄金町二丁目

▽夏から秋へ
變り目の化粧
（その三）



暑あつさに荒あれたお肌はだは
白粉おしろいが附つき悪にくう御座ございます。

◎これは貴方も御経験せう◎
 然し、御心配には及びません。遇害者、海水浴
 で、日焼けしたり、荒れたりしたお肌でも、こ
 れを整へるのが化粧品の日目で、殊に日本で最
 初乳白美容料子を創製した、レイト白粉水師は
 原料と製法に苦心し、優れた技術の學理を經
 験して、立派に御心配なく、お肌を整へ美しく
 ◎獨りて出来る美顔術として◎
 有名なクレム・レイトは、先づ蒸地を整へて
 肌理を細まかにし、血色をよくする上に、白粉
 附りを自由にさせますから、分子が微細かくて
 被覆力の強いレイト粉白粉を其上へお願ひにな
 る。一層よく、附り伸びが充分なつて、決

居ります。

●それでは何を使つたらよい●

こいふ、お尋ねがあれば、お化粧にはレット
白粉のきれをお使ひになつても、乾版、お肌を
整へ満足なお化粧が出来ますが、至極お手軽に
美しくいお化粧をして置こうと思へば、レット
粉白粉をお使ひ下さる事です。それで、悪さ荒

●海綿で真珠を包んだやうて●

品格を高めます。このレット 粉白粉の粉質が
化粧は「新東京式お化粧法」の一つとして、何
處ででも賞讃され流行して居ります。喜さる肌
荒れした此箇この手軽で美しく出来るお化粧
法をお試しなさるのには一番よろしいです

レーム・レッドを下地に引いて頂きたい。こうするこゝ



平替尾平 京惠 舖木料粧化


 洋釘浪平板鐵錮
 板力鐵板錮具銅線鉛亞
 類金地線板錮具銅線鉛亞
 店丈城京又田福
 目丁三通門大商城京

花柳病科專門

梅毒 淋病 泌尿生殖器病
瘰癧 疳疔 疔瘡 皮膚病
婦人病 神經衰弱 白帶 經閉
京都南大町通廣正銀行裏

司生堂醫院

電話三〇六五番

贊化病院
 東京明阿一丁目
 電話二四四番
內科
小兒科
醫院
 隨着
 特別五日名を限り
 無料施療
古
城
憲
治
上
野
亮
薩
岡
山
隆
士
醫
學
博
士

[illegible]

巨商共同汽船出帆

元山丸	九月廿六日午後四時出帆
西丸	九月廿七日午後四時出帆
新丸	九月廿八日午後四時出帆
大正丸	九月廿九日午後四時出帆
佐須丸	十月一日午後六時出帆
天眞丸	十月二日午後六時出帆

本報代售處：大池回瀨

[illegible]

日本郵船出帆
大連行 太沽天津牛莊行
相模丸 九月廿八日
高砂丸 九月廿九日
三河丸 十月二日
正午出
電報掛號 十二番 備 同

[illegible][illegible][illegible]